

Smart and Human 摂南大学 国際学部 日本語教員養成課程

○沿革と概要

摂南大学では、2002 年に国際言語学部に日本語教員養成課程が設置され、学部改組によって外国語学部、そして現在の国際学部になり、継続して日本語教員養成を行っています。

本学部では、英語・スペイン語・中国語・インドネシア/マレー語・韓国語の中から言語を選択して学び、日本語教員養成課程で日本語教育について学ぶことができます。学部全体で、海外に短・長期留学を希望する学生が多く、留学を経験し日本語教育に関心を持つようになります。受講生は、学部で外国語を学習しており、自分自身の学習経験をとおして日本語教育について考えることができます。

○受講資格・定員

例年本課程を修了するのは、平均10名(8~17名)ぐらいで、そのうち卒業後に日本語教育に携わるのは、年によって違いますが1~3名ほどです。

○課程修了要件

所定の必修科目、選択科目、実習科目を履修します。4年次の「日本語教育実習演習」(通年科目3単位)に、教壇実習が含まれています。

○課程授業の一例

「国際社会と日本語プロジェクト」(2年次)

日本語を客観的に観察し、言葉や文化の異なる人々との接し方や、多文化共生社会で生

きるために何ができるのか等について、調査やディスカッションをとおして考察します。テーマに関する成果物をグループで作成し、最後に全体発表を行います。



プロジェクト成果物の発表

○教壇実習

4年次の「日本語教育実習演習」(通年)では、前期は初級レベルの模擬授業、後期は中・上級レベルの教壇実習を行っています。海外産業人材育成協会(AOTS)、地域の日本語教室、大阪大学日本語日本文化教育センター、卒業生の勤務する日本語学校等の日本語教育機関の授業を可能な限り見学した後、本学の外国人留学生対象に日本語教育を行う本学のセンター及び提携先の日本語学校において教壇実習を実施しています。

上記のような日本語教育機関との連携により、多様な日本語教育現場を受講生が知る貴重な機会となっています。



実習生の授業の様子

○学習支援体制

本学の卒業生及び筆者(担当教員)の知人など、日本国内・海外の日本語教育関係者とのネットワークにより、ゲストとして日本語教育について話をしてもらうなど、日本語教育関係者と接する機会を設けています。



卒業生が勤務する日本語学校の留学生の皆さんとの交流会

○課程修了と進路

筆者(担当教員)は平成20(2008)年より本学の日本語教員養成を担当していますが、これまで受講生が勤務した日本語教育関連機関の進路は、以下のとおりです。

〈国内〉

- ・日本語学校
- ・中学校・高校
- ・大学
- ・財団法人の国際交流団体

〈海外〉

- ・韓国:専門大学、日本語学校、
- ・タイ:日本語学校・中学・高校(学校採用)、日本人学校、
- ・フィリピン:協定大学
- ・ベトナム:日本語学校
- ・オーストラリア:州の教育省
- ・インドネシア:協定大学・EPAプログラム(国際交流基金)・日本人学校

・ホンジュラス(JICA海外協力隊) 等

特に、本学部ではインドネシア語を選択言語科目として学べるため、インドネシア語を生かしてインドネシアで教える受講生が複数いました。

また、オーストラリア留学の経験があった受講生は、オーストラリアの州の教育省に採用されランゲージアシスタントとして小中学校・高校で教えていました。

さらに、国際交流基金の「日本語パートナーズ事業」で、在学中や卒業後にタイやインドネシアの中等教育機関(中学・高校)で教えた例もあります。

○摂南大学の養成課程について知るには

摂南大学国際学部ホームページ

<https://www.setsunan.ac.jp/faculty/international/>

〈問い合わせ先〉

摂南大学国際学部事務室

〒572-8508

大阪府寝屋川市池田中町 17-8

072-839-9195

<https://www.setsunan.ac.jp/inquiry/form/?id=2>